

スーパービジョン

佐賀枝 夏文

1

はじめに

事例研究はバイジーからの実践事例を共有して進めます。

- ①主訴と事例の概要
- ②事例から感じたこと
- ③事例からの読み取れること
- ④助言

2

何を見て、理解するか

- ①親子、家族関係を見る
- ②個別性、個としての特徴を見る
- ③発達モデルと比較してみる
- ④比較ではなく個としての育ちを見る
- ⑤行動特性を見る
- ⑥特異性、違和感にとらわれないでみる
- ⑦集団の中でみる
- ⑧個別としてみる

3

家族の見方

- ①家族の文脈、関係性でとらえる
- ②家族の問題が生まれたとは考えないこと
- ③クライアントを問題視することから自由であり全体としてみる

4

さまざまな技法から

- ①遊戯療法（プレイセラピー）
- ②来談者中心療法（カウンセリング）
- ③運動療法（脳性まひ、運動障害）
- ④森田療法（神経質、神経症）
- ⑤グループワーク（協働作業）
- ⑥樹木画テストと樹木観察（投影法）
- ⑦転じる、転換（仏教の教え）
- ⑧ユング理論

5

スーパービジョン

関係からの理解

スーパーバイザーの自己覚知

スーパービジョン、固着からの解放

スーパーバイザーの成長

大枠の設定

時間の設定

記録の作成と提出

6

スーパービジョン

スーパービジョンの主要な課題

対話すること

感じること

固定概念からの解放、自由になること

7

スーパーバイザー

スーパーバイザーの役割

バイザーは全体、部分を見る、感じる

感じたことを意見として伝える

感じたことを感想として伝える

感じたことを助言として伝える

感じたことを注意として伝える

8